

令和7年度リベリア共和国・にかほ市
大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業 報告
秋田県仁賀保高等学校 普通科二年 齋藤 真愛灯

1. はじめに

今回この交流事業に参加しようと思った理由は、万博という一大イベントに行ってみたいと思ったからです。万博というイベントが日本でされるのは1970年以来、50年ぶりということをニュースで知りとても驚いたのを覚えています。

しかし行くことはないだろうと思っていました。なにせ会場は大阪、そう簡単にいくことはできません。だから自分には関係のない話だと思っていました。しかし今回この事業の話を聞き、ぜひ参加したいと思いました。

両親からも「こんな機会はめったにない。絶対に参加したほうがいい。」と背中を押され、参加を決意しました。

リベリアの方と交流してみると、その豪快さや大胆さに感銘を受けました。リベリアの人はこんなにも元気なのかと驚きました。



大阪関西万博の公式ロゴマーク



左がインディカ米、右がジャポニカ米

2. 調べたこと

私が今回調べたのは、リベリア共和国の農業についてです。なぜ農業を選んだのかというと、リベリア共和国で生活する人々がなにを食べているのか気になったからです。何を主食にしているのか、どんなものを育てているのか、日本との共通点はないか、など気になることがたくさんありました。私が今回質問したのは、リベリア共和国では何を育てているのかについてです。リベリア共和国で主に育てているのはトマト、キャッサバ、キャベツ、サツマイモ、ナス、タマネギ、だそうです。リベリアの土壌はとてもよいので、様々な作物を育てているそうです。

また、コメも育てているそうで、日本でよく食べられている粒が小さいジャポニカ米ではなく細長い粒が特徴のインディカ米を育てているそうです。私はこの回答を聞き、キャッサバというものを初めて知りました。調べてみると、キャッサバというのは、芋の一種で、あのタピオカの原料だそうです。現在ではアフリカ、アジア、中南米など熱帯地域で広く栽培されています。アフリカではトウモロコシに次ぐ主要な主食とされており、世界の食糧安全保障に貢献しているそうです。私はキャッサバについてもっと調べて見たいと思いました。



キャッサバとキャッサバ粉

3. キャッサバについて

まず私は、キャッサバがなぜ多くの国で栽培されているのかを調べました。

キャッサバは栽培がとても簡単で、切った茎を地中に挿すだけで発根し、そのまま生育します。1年ほどで丈2~3mに成長し、地下には1株につき約20kgものイモができるそうです。

作付面積あたりのカロリー生産量はあらゆる芋類・穀類より多く、デンプン質の生産効率は高いです。しかし食用とするためには毒抜き処理が必要であり、また毒抜きのために皮や芯を除去した芋はその場で加工しなければ腐ってしまうなど、利用の制約が大きい作物でもあります。

農作物としては、悪環境下（乾燥地、酸性土壌、貧栄養土壌）でも生育可能など、これまで農地とされなかった場所での栽培ができ、食糧問題や地球温暖化問題の解決への期待が大きいとされています。食用以外の利用範囲も広く、葉を発酵させて毒抜きし家畜飼料として利用するほか、アルコール発酵によるバイオ燃料（バイオマスエタノール）製造も注目を浴びています。

なお、熱帯の都市では緑地帯の植え込みにも利用され、室内での観葉植物としても利用価値があるそうです。



キャッサバ畑と収穫されたキャッサバ

4. 感想

今回この交流事業に参加してみて、とても貴重な体験をさせていただきました。

私はこの交流事業を通じて、新たな友、様々な国の歴史、大舞台で発表することの難しさを学ぶことができました。この経験を活かし、人の前で話すときの心構えや、ほかの国の人々を受け入れるということを意識して、生活していきます。

引用

Wikipedia

Dunn Elwood D. *Historical Dictionary of Liberia*. Scarecrow Press, 2001.

Levitt, Jeremy.

The Evolution of Deadly Conflict in Liberia. Carolina Academic Press, 2005.

国際連合開発計画（UNDP）リベリア国レポートアフリカ研究所「リベリアの政治・経済会」（年次報告）



バイオマスマーク。食品容器、衣料品などに表示されている。

**令和7年度リベリア共和国・にかほ市
大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業 報告**
秋田県立仁賀保高等学校 普通科 2年 木村 斗真

1. はじめに

今回、大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業に参加した理由は、以前から繋がりがあったリベリア共和国との交流を更に深め、リベリア共和国の文化や歴史について知りたいと思ったからです。



リベリアパビリオンにあった民芸品です

2. リベリア共和国の歴史

リベリア共和国の歴史は、1822年にアメリカの植民協会によって開放された黒人奴隷のための居住地として設立され、1847年に独立を宣言したことに始まります。

独立後、リベリアはモンロビアを首都に定め、アメリコ・ライベリアンと呼ばれる解放奴隷とその子孫によって統治されました。アメリコ・ライベリアンは先住民に対して差別的な扱いをし、その支配体制は100年以上続きました。そして1980年、リベリア共和国先住部族であるクラン族出身のサミュエル・ドウによる軍事クーデターが発生し、アメリコ・ライベリアンによる支配は終焉を迎えました。しかし、後に大統領に就任したサミュエル・ドウの政権に対する反乱が勃発し、内戦は2003年まで続きました。

その後、アフリカ初の女性大統領であるエレン・ジョンソン・サーリーフが2006年に大統領に選出され、国の再興に尽力し、

内線で傷ついたリベリア共和国の復興をリードしました。



アフリカ初の女性大統領の
エレン・ジョンソン・サーリーフ

3. 質問項目と選んだ理由

私はリベリアの方にリベリアの農業について質問しました。農業について質問した理由は、日本とリベリアの農業の違いを知りたいと思ったからです。主にリベリアでは何を栽培しているか、それを使ってどのように調理するのかなどを質問しました。



リベリア共和国で米を栽培している様子です

4. 聞いたこと・調べたこと

まず、リベリアの方に実際に聞いたことです。リベリアで育てているものはトマト、キャベツ、さつまいも、なす、たまねぎ、キャッサバ、米などです。米は日本で育てられている粒が短い短粒米(ジャポニカ米)ではなく、粒が細長い長粒米(イ

ンディカ米)を育てているそうです。キャッサバは葉っぱも実の部分も丸ごとスープに入れて食べるそうです。

次に調べたことです。リベリア共和国の農業は、人口の3分の2が従事する主要産業ですが、2003年まで続いた内戦やエボラ出血熱の流行、世界的な食糧不足の影響で生産性が低く、多くの農家が貧困に直面しています。主な栽培品目は米であり、主食ですが生産性の低さから輸入に依存しています。



スープなどに使われるキャッサバです

5. 考察

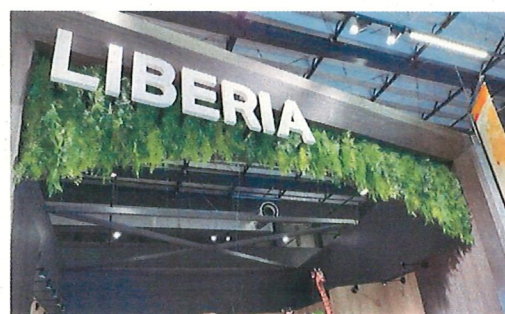
更にリベリア共和国の農業について調べたところ「リベリア国小規模農家コメ生産向上プロジェクト」というものが行われていることが分かりました。プロジェクトの内容は、日本人専門家による普及員・農家への現地研修、養成されたコアトレーナーによる普及員・農家への現地訓練、国産米の販売試行、精米機操作研修でした。これによって水田稲作が継続されるための水田稲作技術が開発されるなど成果も出ています。このプロジェクトは今年の5月に終わっていますが、しっかり成果が出ていることから、今後も研修や農業資材の供給、普及サービスの提供、機械化の推進などが進められていくと思います。そして、リベリアと日本の栽培品目は似ているため、日本からも支援できたらいいなと思いました。



専門家による農業研修の様子です

6. まとめ

今回、大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業に参加して、以前からにかほ市と関係があったリベリア共和国と実際に交流したことで相手のことを更に知ることができましたし、自分たちのことも知ってもらえたと思います。リベリアの方のダンスや演奏を見て独特なリズムや衣装、歌や楽器なども日本とは異なっていました。そういった異なる文化を互いに理解し尊重し合うことで、国際理解につながっていくと思いました。実際に万博に行って、リベリア共和国と交流して学んだことをこのレポートやパワーポイントを通して小中学生や仁賀保高校生に伝え、より多くの人に、リベリア共和国はどんな国でどんな歴史や文化があるのか知ってもらい、理解を深めていきたいです。



リベリアパビリオンの看板

令和7年度リベリア共和国・にかほ市

大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業 報告

秋田県立仁賀保高等学校 情報メディア科 2年 増村圭剛

1.はじめに

私が大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業に参加した理由は英語圏の人とコミュニケーションを取ってみたいからです。

リベリアは昔アメリカの植民地で今はアフリカ初の独立国家になるまで成長したすごい国です。私はリベリアの観光について調べ、リベリア人に話を聞いて来ました。なぜ、観光を調べたのかというと、リベリアの人はどうやって魅力をまわりに伝えてるのだろうが頭の中に思い浮かびました。

鮮やかな布や工芸品が並ぶリベリアのブースで「リベリアの観光について教えてください」と、聞くとリベリアの人は笑顔でリベリアの魅力を語ってくれました。

「私たちの国には美しい海と山があります」と教えてくれました。大西洋に面した海岸ではサーフィンが盛んで、世界中から愛好者が訪れるとのこと。さらに内陸の山々ではトレッキングや自然観察が楽しめる、熱帯の緑に囲まれた環境は特別です。直接訪れたことがなくても、その話しぶりから雄大な自然の姿が目に見えました。

お土産の話題になると、市場に並ぶ品々を紹介してくれました。木彫りの「お面」や色鮮やかな「アクセサリー」、伝統のリズムを奏でる「楽器」、生活に根付いたカラフルな「布」などが人気だそうです。また食材としては、バナナに似た「プランテン (plantain)」が日常的に食べられており、焼いたり揚げたりして多彩な料理に使われると説明してくれました。



↑リベリアの楽器(ジャンベ)



↑リベリアの木彫り人形たち

2.考察

リベリアにはジョージウェアという元サッカー選手がいます。ジョージ・ウェアさんはなんとアフリカ人初のバロンドール受賞者です。バロンドールとは、世界年間最優秀選手に贈られる賞です。つまりその年の世界で1番最高の選手だったということです。

このことから、リベリアにはサッカー少年を育成する最適な環境を整えることが良いと思います。サッカー大国になって一躍有名な選手が出る、そしてお金が増える、経済的にも成長が見込めるという考えです。リベリアのサッカーを見に来る人も増えたらとても人気な観光地になると思います。



↑選手時代のジョージウェア氏

います。一緒に行った仲間との絆を深め、最高の3日間にすることができました。リベリアナショナルデーの式典は多くの人がいてとても緊張しました。けれどリベリアの方々、リベリアナショナルデーを見に来た人、一緒にリベリアに行った仲間が温かく見守ってくれて気持ちよく交流事業を終えることが出来ました。

スピーチが終わった後にリベリアの代表の方々や観客の拍手、掛け声が耳に吸い込まれて来ました。「よくやった」、「ブラボー!」、「めっちゃくちゃよかった!」と褒められ「挑戦してよかった」と心の中でとても感じていました。

これを機にチャレンジする精神を大人になっても続けようと思いました。成功ばかりではないと思いますが、失敗を恐れず立ち向かう事はみんなにもして欲しいです。このイベントで異なる文化や違う社会背景についての理解がとても深まりました。



↑リベリアの国旗

3.まとめ

大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業に参加してとても良かったと思って

令和7年度リベリア共和国・にかほ市
大阪万博リベリアナショナルデー交流事業 報告
秋田県仁賀保高等学校 情報メディア科 1年 畠山 竜輝

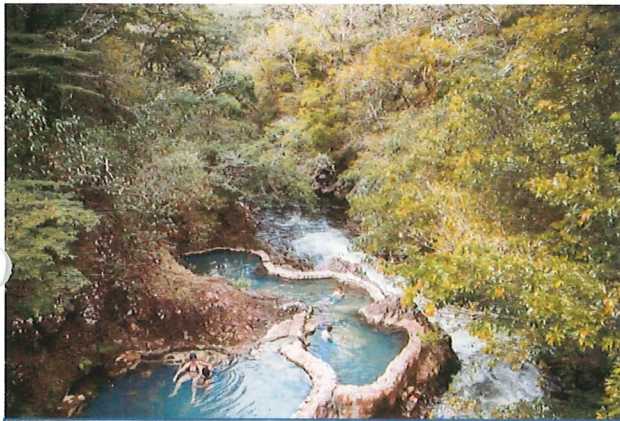
はじめに

私は今回、アフリカ西部に位置するリベリア共和国について調べました。日本ではあまりなじみのない国ですが、リベリアには自然の美しさや伝統的な街並み、多彩な食文化、そして豊かな資源産業など、多くの特色があります。このレポートでは、リベリアの自然、街、食文化、産業について紹介し、最後にまとめを述べます。

本文

1. 自然と観光

リベリアは大西洋に面しており、海岸には美しいビーチが広がっています。そのビーチではサーフィンを楽しむことができ、近年は海外から訪れるサーファーも増えています。観光資源としての価値が高く、今後さらに発展する可能性を秘めています



リベリアの綺麗な自然です。

2. 街並みの特色

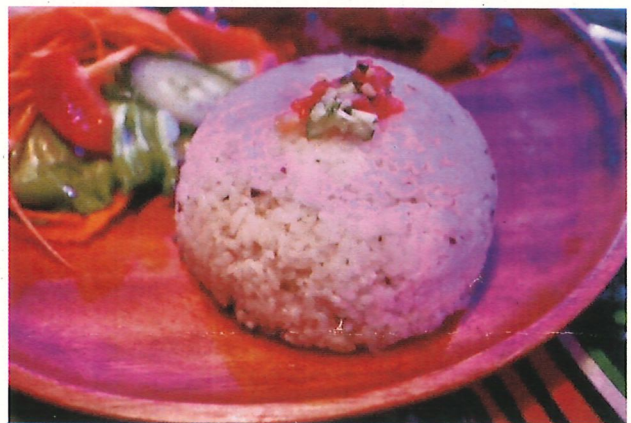
リベリアには伝統的な街並みを残す地域と、近代的な都市の両方が存在します。たとえば「ベンソンビル」は、昔ながらの雰囲気を感じさせる街として知られています。一方で首都モンロビアなど都市部では近代的な建物が建ち並び、経済活動の中心となっています。伝統と近代が共存する姿は、リベリアの大きな特徴の一つです。



モンロビアのストックフォトです。

3. 食文化

リベリアの料理はスパイスを多く使い、辛い味付けのことが多いことが特徴です。唐辛子を使った料理は特に人気がありますが、それだけではありません。米を主食とした料理や、比較的マイルドな煮込み料理も存在します。食のバリエーションは広く、誰でも楽しめる多彩な食文化が根付いています。



チェックライス、東京のでも食べられるリベリア食です。

4. 資源と産業

リベリアは資源が豊かな国です。特にゴムはアフリカ最大規模の農園があり、タイヤや日用品などのゴム製品として世界各国に輸出されています。また、地下資源としてダイヤモンドや金、鉄なども豊富に産出され、国の経済を支える重要な産業となっています。さらに、近年はカカオの生産も注目され

ており、リベリア産のカカオはチョコレートの原料として世界に輸出されています。



リベリアは、ゴムの農園が沢山あります。

考察

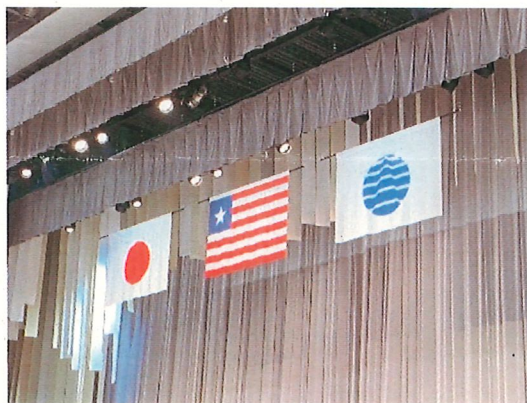
今回リベリアについて調べてみて、私がまず驚いたのは「アフリカ最大のゴム農園がある」という事実でした。今までゴムといえば東南アジアのイメージが強かったため、リベリアが世界的なゴム産業の拠点であることを知って視野が広がりましてみると観光やリゾートの可能性を秘めていると感じました。このように、実際に調べることで「アフリカの国＝貧しい」という一面的なイメージではなく、自然や文化、産業の多様な側面があることに気づきました。リベリアはまだ発展の途中にある国ですが、資源や観光資源を活かすことで、今後さらに成長していく可能性が高いと思います。また、ダイヤモンドや金といった鉱物資源が豊富であることも、アフリカならではの特徴だと思いました。さらに、リベリアには美しいビーチがあり、サーフィンを楽しめることも意外でした。アフリカの国々は乾いた大地のイメージが強かったです。



リベリアナショナルデーの公式式典です。

まとめ

以上のように、リベリア共和国には自然の美しさ、伝統と近代の融合した街並み、多様な食文化、そして豊富な資源産業といった多くの魅力があります。調べてみると、日本ではあまり知られていないだけで、実際には可能性に満ちた国であることがわかりました。今回の学習を通して、世界にはまだ知らない魅力的な国がたくさんあることを実感しました。リベリアはその一つであり、これからも注目していきたい国だと思います。



リベリア共和国と日本の国旗をあげた時のものです。この時にリベリアの偉い人が話してくれました。



リベリアナショナルデーの夜の部で大迫力の演奏を聞き、感動しました。

引用

- <https://www.getyourguide.jp/liberia-costa-rica-1381/1,100点を超えるリベリア モンロビアのストックフォト、写真、そしてロイヤリティフリーの画像 - iStock>
- [ご存知ですか？リベリア料理 \(Pedi's Tokyo/六本木\) 東京グルメで世界一周](#)
- [『筋斗雲で行く西アフリカ⑤ 連日の陸路国境超え リベリアでは4駅分乗も故障』モンロビア\(リベリア\)の旅行記・ブログ by gontara さん【フォートラベル】](#)

令和7年度リベリア共和国・にかほ市
大阪関西万博リベリアナショナルデー交流事業 報告
秋田県立仁賀保高等学校 情報メディア科 1年 C組 佐々木静那

1. はじめに

まず、私が今回大阪関西万博のリベリアナショナルデーに参加しようと思った理由は、にかほ市が、リベリア共和国という国との国際交流をしていると聞いてとても興味深いと思ったからです。また、外国の方と関わることで自分自身も貴重な体験が出来そうだったからです。

2. 調べたこと

～歴史～

リベリア共和国は、アフリカで最初の独立共和国という歴史を持つ国だそうです。また、素晴らしい伝統的な文化や芸能を持つ国でもあります。

～質問項目・観光～

まずはじめに、何故観光について質問しようと思ったかというと、観光の面でのリベリアと日本との違いが知りたかったからです。そのため以下のことを質問しました。

Q1. リベリアの観光名所は何か。

A. ビーチ、サーフィンなどを楽しむことが出来る。また、伝統的な街、ビジネス街、近代的な街もあるため、来る人によって求める場所に行ける。

とのことでした。



ナショナルデー公式式典
でのダンス披露



公式式典開催前のパレード
酒田南高校のダンス部の方々
も共に踊った



リベリアのビーチ

Q2. リベリアの特産品

A. ゴム(アフリカ最大のゴム農園)

などの天然資源、その他、ダイヤモンドや金などの鉱物資源がとれる。他にもカカオ農園などもある。との事でした。

2. 考察

今回の交流事業では主にダンスでリベリア共和国の方々と交流しました。私自身は踊っていないのですが、言葉を読さなくても、皆で踊れば気持ちが1つになっていく感じがして、とても楽しそうでした。

このことから私は、言葉だけが重要なのではなく、行動、仕草なども含めて相手の方と仲良くすることが大切なのではないかと思いました。

個人的な意見ですが、言葉で全て解決してしまうのではなく、相手の方のことをしっかり考えて言葉で動くより先に自分や相手の方の感情、気持ちを大事にすることも重要だと思いました。

3. まとめ

今回の交流事業に参加してみて、想像以上な数々の貴重な体験をすることが出来たと思います。特に、リベリア共和国の方々が笑顔で私たちと交流してくれたことがとても印象に残っています。

これから私は、この交流事業で学んだ「言葉だけでなく、行動で相手に伝える」ということをこれからの生活に取り入れて過ごしていきたいと思います。

また、長い間にかほ市が積み上げてきたリベリア共和国との友好な関係を直に肌で感じる事が出来ました。これから更により良い関係を積み重ね、にかほ市



アフリカ最大のゴム農園

とリベリア共和国がこれからも友好な関係でいられると私は信じています。

引用

<https://www.tripadvisor.jp/HotelsList-Liberia-Beachfront-Resort-zfp17010737.html>

<http://blog.livedoor.jp/earthcolor0826/archives/1724846.html>